

令和6年度 6月号

めいかわ

令和6年5月31日
文京区立明化幼稚園

お弁当からの経験

園長 池田 克子

アジサイの花がきれいに色付き始めました。ほとんどの子どもたちが、自分の居場所を見つけ、安心して過ごせるようになり、園内に子どもたちの元気な声が響いています。

5月の半ばには、年少いちご組もお弁当が始まりました。お弁当が始まることを心待ちにしていた子どもたちは、片付けの時間になると、すぐに片付けをし、あっという間に集まっていました。担当が分かりやすく絵で表示したお弁当の支度の仕方を見ながら準備を始め、いよいよいただきますの時間です。お弁当のふたを開けた子どもたちは笑顔いっぱいでした。

年中組に行くと同じテーブルの友達と会話を楽しみながらお弁当を食べていました。バスに乗って遠足に行ったことや週末のおうちでの出来事など、新入児や進級児もすっかり仲良くなり会話を楽しみながら食事をしていました。また、お弁当の準備や片付けの仕方も身に付き、自分で行っています。

年長組になると当番の仕事もあります。布巾を絞って机を拭いたり、職員室にお茶を取りに行き、グループの友達にお茶を注いだりします。また、食後もお茶の入っていたやかんを片付け、テーブルを布巾で拭いてくれます。お弁当箱も袋ではなく、大きなハンカチやバンダナを使って包んで結ぶことにも挑戦し、上手に包めるようになったことを誇らしげに見せてくれました。

このように、お弁当という活動を通して、食事を楽しむだけではなく、幼児にとってはいろいろな経験をしています。毎日お弁当を作ってくれる家族の愛情を感じることで、会話を通して、友達とのかかわりを楽しむこと、自分のことは自分ですること、当番の仕事をする、手先が器用になり、弁当箱を包んで結ぶことができることが自分の成長として自信につながるなど、発達に応じてその時期に必要な経験をしています。暑くなる時期、お弁当作りにも一層配慮が必要ですが、子どもたちの健康と、成長、そして笑顔のためによりしくお願いいたします。



お弁当の様子（年少組）



お弁当の様子（年中組）



お弁当の様子（年長組）